

令和5年度 長崎県立西彼杵高等学校 学校評価集計結果

職員用

4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

		目 標	具体的方策	評価指標	令和5年	令和4年	令和3年
評価分野1 学校経営	1 教育方針・努力目標	地域や生徒の実態に即した教育方針・努力目標を設定し、教職員間の共通理解のもとに、具現化を図る	年度当初に教育方針・努力目標を踏まえた校務分掌の目標を設定し、組織的・計画的に業務を行う	各分掌・学年及び各教職員が目標を設定し、実践する	3.6	3.6	3.4
			教育方針・努力目標を周知徹底し、その達成に向けて実践と評価を行う	学校要覧等に教育方針等を掲載するとともに、達成状況について評価を行う	3.7	3.7	3.5
	2 学年・分掌関係	学校の教育方針・努力目標に沿った学年目標・分掌目標を設定し、経営を行う	学年目標を教職員・生徒に浸透させ、目標達成のための教育活動を実践する	学校要覧等に目標等を掲載するとともに、達成状況について評価を行う	3.5	3.6	3.3
			分掌目標を教職員・生徒に浸透させ、目標達成のための教育活動を実践する		3.6	3.6	3.4
評価分野2 本校の努力目標	1 他人を思いやる豊かな心と品格を備えた心身ともに健康で逞しい生徒育成の推進	①全体指導と個に応じた指導を適切に行い、生徒理解と生徒指導力の向上を図る	個別面談を実施し、学校に不応を示す生徒の未然防止に努める	昼休みや放課後等に随時実施する	3.9	3.8	3.7
			主体的に身だしなみを整える生徒の育成を目指し、共通理解をもって全職員で指導する	随時	2.8	3.1	3.0
		②豊かな人間性を育み、明るく一体感のある学校づくりに努める	問題行動の未然防止のため、生徒参加型のセミナー等の開催、専門家を招いた講演会の開催を行う	生徒参加型のセミナー実施 専門家を招いた講演会の実施	3.5	3.9	3.6
			セミナー研修を通じて、自立的な行動ができる態度を養う	1年次は新入生研修、2年次はセミナー研修を実施	3.3	3.2	2.7
			人権意識を醸成するための指導を行う	年1回の人権教育LHRを実施するほか、随時指導する	3.5	3.8	3.7
			「心の教育」の時間を中心に、計画的に指導を行う	指導計画は学校要覧30ページ参照	3.4	3.3	3.1
		③特別な配慮の必要な生徒の情報共有し、個々に応じた最善の支援を行う	特別支援教育に関する職員研修を実施して共通理解を図り、校内体制を整備する	少なくとも年に1回は実施する	3.9	4.0	3.8
			教育相談委員会を定期的に開催し、情報を共有して指導に当たる	年3回実施する	3.9	3.9	3.8
		④生徒一人ひとりが自己肯定感や充実感を感じられる、いじめのない明るい学校づくりに努める	いじめの定義を理解し、いじめの早期発見に努める	年に1回研修を実施する	3.2	3.6	-
		⑤校内美化に努め、施設・設備の定期点検を行い、学校環境の保全に努める	日々の清掃活動を積極的に行い、地域の環境整備活動の一環として地域清掃を行う	掃除区域ごとに指導 地域清掃の実施 安全点検の実施	3.2	3.5	3.2
		⑥生徒の健康状態を的確に把握し、健康指導の充実に努める	生徒の心身の健康問題の早期発見・早期対応を図る 感染症の拡大防止や予防を図る 日々の継続的な実施によって、生徒に自他の健康に興味・関心を持たせ自己管理能力の育成を図る	日々の健康状態の把握 (朝のSHR・部活動開始時等)	3.7	3.8	-

		目 標	具体的方策	評価指標	令和 5年	令和 4年	令和 3年
評価分野2 本校の努力目標	2 多様な進路に対応する、 極め細やかに丁寧な進路指導とキャリア教育の推進	①生徒一人ひとりの学力や学習実態を踏まえ、「学びの質」の保障と進路実現に向けて、個に応じた丁寧な指導を行う	生徒の実態及びコースの目標に応じた教育課程を検討・編成する	7月中旬までに終了する	3.9	3.9	3.8
			年間行事に基づき、成績不振者対策を実施する	定期考査前や長期休業中に実施する	3.9	3.9	3.6
			必要に応じて、進学希望者を中心に個別添削指導や学習会等を行う	学年単位の指導を基本として、随時実施する	3.4	3.6	3.5
			「萌タイム」における学び直しや進学補習、放課後補習、長期休業中の補習等を企画・運営し、学力向上対策とする	年間計画に基づき評価する	3.3	3.5	3.4
	②探究的な教科指導を実践し、生徒一人ひとりが主体的に学ぶ姿勢を育成する		年間計画に基づき、月ごとに実施計画を作成する	月ごとに計画を作成し実施する	3.5	3.7	3.5
			「探究的な学び」による授業を実践する	日々の授業において実践する	3.3	3.3	3.2
			PT会議を定期的に開催して、各分掌・学年と連携し、「探究的な学び」実践の牽引力となる	随時	3.8	3.9	3.9
			年間計画に基づいて、研究授業・授業研究を行う 外部講師による校内研修を年1回行う	年間計画に基づいて実施する	3.6	3.9	3.9
	③ICT等を活用し、日々の継続した家庭学習の習慣化を図る		ICTを活用した授業を実践する 研究授業や授業研究等を活用し、指導法や教材の改善・研究に努める	日々の授業において実践する	3.4	3.6	3.4
			学校行事・総合的な探究の時間との関連を図りながら、年間計画に基づき実践する	年間計画に基づき評価する	3.7	3.6	-
	④就職・進学に際し、自らのライフプランに基づいた進路選択能力の育成を図る		進路実現のための面接指導や内定者指導を計画的に行う	学年団を中心に全職員による指導を基本とし、随時実施する	3.9	3.9	3.7

		目 標	具体的方策	評価指標	令和 5年	令和 4年	令和 3年
3 保護者・ 地域の 期待に 応える 魅力あ る学校 づくり の推進	①学校と家庭、地域が一体となった教育を推進するため、積極的な情報発信と連携に努め、開かれた魅力ある学校を目指す	指導方針を生徒や保護者に説明すると共に、あらゆる場面を通して全職員で指導する	全校集会、学年集会等で生徒に説明・指導 面談、育友会等で保護者に説明する	3.5	3.5	3.1	
		育友会活動に積極的に支援・協力し、教育活動の活性化につなげる	実績により評価する	3.6	3.6	3.3	
		ホームページの内容充実と迅速な更新を行う 生徒の活躍について、生徒・保護者・地域の方々にタイムリーに発信する	ホームページ等の更新状況により評価する	3.7	3.8	3.7	
		学校行事や日ごろの教育活動を積極的に地域の人々に開放し、交流を深める	実績により評価する	3.6	3.6	3.4	
	②プロジェクトを中心に広報活動を充実させ、生徒数増加を目指す	生徒数増加に向けて広報活動に取り組む	実績により評価する	3.7	3.6	-	
	③ふるさと教育をとおして、ふるさとへの愛着心と誇りを育むとともに、学校が持続的な地方創生の核として機能する取組を行う	ふるさとへの愛着心と誇りを育むとともに、地元の関係機関や企業、地域の人々等と連携・協働しながら、地域の課題解決を図る	各学年の取組状況で評価する	3.6	3.5	-	
	4 個々の 生徒が 達成感 と充実 感を感じ られる 教育活 動の推 進	①学校行事や生徒会・委員会活動、部活動等を活性化させ、生徒の自主的・主体的態度を育む	生徒が学校行事等に自主的・主体的に参加できるよう企画・運営する	学校行事ごとの評価・反省等をもとに全体評価とする	3.6	3.8	3.7
			各種委員会活動、学校行事等を通して、生徒会活動の活性化を図る	結果を評価する	3.6	3.5	3.6
		②部活動への積極的な参加を推進することで部活動の活性化を図り、主体的に活動する中で、責任感・思いやり・克己心等の育成を図る	部活動の活性化を進め、主体的に参加させる	部活動入部実態・入部率等で評価する	3.2	3.2	2.9
		③ボランティア活動等への積極的な参加を促し、自発性や他者や地域に貢献する態度を養う	ボランティアサークルだけでなく、部活動や個人での参加を積極的に呼びかける	参加実態・参加率等で評価する	3.2	2.8	2.7
5 服 務 規 律 の 徹 底 と 働 き や す い 職 場 づ く り の 推 進	①あらゆる機会を通じて服従規律の徹底に努め、信用失墜につながる不祥事等の防止に努める	服従規律の徹底に努める	服従規律についての取組を服従規律委員会等で外部の意見を聞き、検討する	3.8	3.8	-	
	②ハラスメント防止と校務負担軽減に努め、働きやすい職場づくりの推進	ハラスメントについて理解し、その防止に努める	毎月1回はノー残業デーを設定し、定時退校する日を設ける 業務削減に向けて、分掌・学年で検討する	3.4	3.2	-	

評価分野2
本校の努力目標

令和5年度 学校評価アンケート結果

【評価基準】

- 4:「そう思う」、「よくあてはまる」
- 3:「どちらかと言えばそう思う」、「ややあてはまる」
- 2:「どちらかと言えばそう思わない」、「あまりあてはまらない」
- 1:「そう思わない」、「全くあてはまらない」

生徒用

番号	評 価 内 容	評 価 平 均						
		1年	2年	3年	全体	R04	R03	R02
1	学校では、学校や学級の目標についてわかりやすく示している。	3.0	3.2	2.8	3.0	3.0	3.1	3.1
2	学校では、健康で安全な生活を送ることができるよう配慮してくれている。	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5	3.3
3	学校では、先生方が協力しあって日常の教育活動に当たっている。	3.4	3.4	3.2	3.3	3.2	3.4	3.4
4	学校では、生徒の悩みや相談などについて親身に対応してくれている。	3.5	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.4
5	学校では、生徒の適性や希望などを生かした進路指導をしてくれている。	3.4	3.4	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4
6	学校で行う進路学習やキャリア教育は、役に立っている。	3.4	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3
7	学校では、ルールや基本的な生活習慣などを身につけるよう指導してくれている。	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.5	3.5
8	学校では、心のふれあいや、命・人権を大切にする教育が行われている。	3.3	3.4	3.1	3.3	3.3	3.4	3.4
9	学校では、ボランティア活動を通して、奉仕の心を学んでいる。	3.2	3.1	2.8	3.0	2.9	2.9	3.0
10	先生方の授業は、わかりやすく、充実している。	3.2	3.1	3.1	3.1	3.3	3.3	3.1
11	先生方の授業の速度は、ちょうど良い。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	3.1
12	先生方の授業中の声は、はっきりしていて聞きやすい。	3.4	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	3.3
13	先生方の授業や自習プリントなどで、学力(体力)が伸びるのが実感できる。	3.3	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1
14	先生方は、わからないことがあれば、個別指導も積極的にしてくれている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4
15	先生方は、生徒の学力の向上に努めてくれている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
16	学校は、清掃が行き届き、いつもきれいだ。	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.8
17	学校の校舎や校地の整備は、行き届いている。	3.2	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	3.0
18	部活動は、活発に行われている。	3.4	3.1	2.8	3.1	3.0	3.1	3.3
19	クラスの活動は活発で、クラス全体で取り組んでいる。	3.2	3.5	3.0	3.2	3.1	3.2	3.1
20	学校行事は楽しく、さまざまな体験ができている。	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	3.4	3.4
21	生徒会活動や委員会活動は、活発に行われている。	3.3	3.4	3.2	3.3	3.2	3.4	3.3
22	自分自身は、意欲的に授業や家庭学習に取り組んでいる。	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	2.7	2.8
23	自分自身は、進んであいさつをするように心がけている。	3.3	3.4	3.2	3.3	3.4	3.5	3.3
24	自分自身は、髪型や服装などについて校則に沿った身なりをしている。	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	2.5	3.2
25	朝の10分間読書の影響で、以前より本を読むようになった。	2.9	2.6	2.7	2.7	2.8	3.3	2.8
26	自分自身は、いつも周囲や相手のことを思いやって生活している。	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	2.8	3.3
27	自分自身は、環境問題に関心があり、何らかの取組を実践している。	3.2	2.7	2.8	2.9	2.6	3.2	2.7
28	自分自身は、政治や選挙に関心があり、自ら社会への参画を目指している。	2.8	2.4	2.5	2.6	2.6	2.7	2.6

令和5年度 学校評価アンケート結果

【評価基準】

- 4:「そう思う」、「よくあてはまる」
- 3:「どちらかと言えばそう思う」、「ややあてはまる」
- 2:「どちらかと言えばそう思わない」、「あまりあてはまらない」
- 1:「そう思わない」、「全くあてはまらない」

保護者用

番号	評価内容	評価平均						
		1年	2年	3年	全体	R04	R03	R02
1	学校では、学校や学級の目標についてわかりやすく示している。	3.2	3.2	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0
2	学校では、子どもが健康で安全な生活を送ることができるよう配慮してくれている。	3.4	3.8	3.4	3.5	3.3	3.4	3.3
3	学校では、先生たちが協力しあって日常の教育活動に当たっている。	3.4	3.6	3.4	3.5	3.5	3.3	3.3
4	学校では、子どもや保護者の悩み・相談などに親身になって対応してくれている。	3.2	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2
5	学校では、保護者と連携をとりながら、進路指導を行っている。	3.2	3.5	3.3	3.3	3.4	3.3	3.2
6	学校で行う進路学習やキャリア教育は、子どもにとって役に立っている。	3.0	3.5	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1
7	学校では、子どもがルールや基本的な生活習慣等を身につけるよう指導してくれている。	3.1	3.5	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2
8	学校では、心のふれあいや、命・人権を大切にする教育が行われている。	3.0	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3	3.1
9	学校では、子どもがボランティア活動を通して、奉仕の心を学んでいる。	2.9	3.5	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0
10	先生たちは、プリントや補助教材を使うなどわかりやすく授業を工夫している。	3.2	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1
11	先生たちは、個別指導を行うなど子ども一人ひとりに合った学習指導をしている。	3.1	3.4	3.4	3.3	3.2	3.3	3.1
12	先生たちは、テストの成績以外の面からも子どもの学習を評価している。	3.0	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.2
13	先生たちは、子どもの学力の向上に努めてくれている。	3.3	3.6	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3
14	学校では、清掃が行き届き、いつもきれいになるよう努めている。	3.3	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3
15	学校では、校舎内外の環境整備に努めている。	3.3	3.4	3.3	3.4	3.2	3.3	3.3
16	学校行事の日時や内容は、確実に連絡されている。	3.1	3.5	3.3	3.3	3.5	3.3	3.2
17	学校のホームページや学校だよりなどは充実している。	2.9	3.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0
18	学校と保護者の連携がとれており、育友会活動に参加しやすい工夫がなされている。	3.0	3.4	3.1	3.2	3.1	3.0	3.0
19	学校では、部活動が活発に行われている。	2.9	3.4	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2
20	子どもは、学校行事は楽しみにしており、さまざまな体験ができています。	3.0	3.5	3.2	3.3	3.1	3.1	3.1
21	朝の10分間読書の影響で、子どもが以前より本を読むようになった。	2.5	3.0	2.8	2.8	2.5	2.6	2.6

学校関係者評価

<p>学校評議員への 諮問内容</p>	<p>○第1回評議員会（令和5年7月10日） 学校の現況報告（教育方針・努力目標、具体的取組、生徒の現況、卒業生の進路等）を報告し、それを踏まえた学校の在り方等について諮問した。</p> <p>○第2回評議員会（令和6年3月4日） 学校の総括（努力目標に対する取組と成果、進路・部活動の状況等）及び学校評価の結果を報告し、指導助言をいただいた。</p>
<p>学校評議員からの 意見・助言等</p>	<p>○若者の地元定着について 本校の生徒は、地域を支え、働き手として貴重な存在である。高校の役割として、積極的に生徒と地域の橋渡しを担い、学校と地域が一体となって生徒を育てる必要がある。</p> <p>○生徒が社会に関心を持つための取組について 生徒の学校評価で、環境問題や政治等についての関心が低かった。それに関する様々な大会があるので、参加してはどうか。</p> <p>○高校生と卒業生や卒業生同士のコミュニティについて 企業内では、年齢のギャップが大きく、職場内でのコミュニケーションがなかなかできない状況も見られ、離職の原因にもなっている。そこで、高校生と卒業生や卒業生同士のコミュニティを作り、働き方について一緒に考える機会が作れないか。</p> <p>○女子バレー部の復活について 女子バレー部の活躍は、地域に元気を与えている。西彼杵高校は明るい方向に向かっている。地域の方もとても協力的で、何かできないかと申し出る人が多い。</p>
<p>対 応 等</p>	<p>○若者の地元定着について 地域の課題を把握し、行政や企業、地域の方と協力してふるさと教育をさらに進め、生徒の地域への関心を高めていきたい。</p> <p>○生徒が社会に関心を持つための取組について ご紹介いただいた「エコノミクス甲子園」等について、参加に向けて検討していきたい。</p> <p>○高校生と卒業生や卒業生同士のコミュニティについて 西海市や地域の商工会、同窓会等と相談して、そのようなコミュニティを作り、若い人たち同士が働き方について話し合う機会を作れないか検討していきたい。</p> <p>○女子バレー部の復活について 本校は、3年間の活性化協議会を終え、しばらく統廃合の話はないと考えている。女子バレー部の活躍だけでなく、学校の魅力化をさらに進め、地域から信頼される学校になれるよう取り組んでいき、それを情報発信していく。</p>